

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】											
番号	3-2-1	分類	共通	担当課	業務課、輸送課、安全推進課、施設課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5		R5
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組		バリアフリーの推進						
概要	仙台市交通局バリアフリー特定事業計画(※1)に基づき、誰もが利用しやすい、安全で安心なバリアフリー空間の整備に向けて、高齢者団体、障害者団体との意見交換を継続的に行いながら、市バス及び地下鉄の施設・設備、車両等のハード面及びバリアフリーに関する職員教育、啓発活動等のソフト面の両面についてバリアフリー化を推進していきます。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
予定	バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置 職員のバリアフリー教育の実施等 意見交換とアンケートを隔年で実施 バリアフリー施設整備(第3期前期計画) → バリアフリー施設整備(第3期後期計画)										
これまでの取組み状況	【バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置】(◆2-2-5に関連記載あり) ・令和3年度 ・上屋:15箇所(内 広告付き上屋14箇所) ・ベンチ:3箇所 ・電照式バス停留所:5箇所 ・バス運転者採用時教習や接客接遇研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施した。 ・令和4年度 ・上屋6箇所(内 広告付き上屋4箇所) ・電照式バス停留所:5箇所 ・バス運転者採用時教習や接客接遇研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施した。 【バリアフリー意見交換会】 ・令和3年度 仙台市交通局バリアフリーアンケートを老人クラブ連合会及び障害者団体に依頼し、集計結果を取りまとめ、各職場に展開した。 ・令和4年度 高齢者団体、障害者団体との意見交換会は、障害者団体等(老人クラブ連合会は欠席)と福祉プラザにて実施し、出された質問・回答等議事結果は各職場に展開。 【バリアフリー施設整備(第3期前期計画)】 (◆2-2-7シートに関連記載あり) 【サービス向上研修】 (◆2-1-1シートに関連記載あり) ・令和3年度 仙台市社会福祉協議会の協力の基、鉄道両部係長以下の職員を対象にサービス向上研修(バリアフリー)をWeb会議形式で5日間実施した。 ・令和4年度 仙台市社会福祉協議会の協力のもと、鉄道両部係長以下職員で令和3年度未受講者(43名)を対象にサービス向上研修(バリアフリー)をWeb形式で実施。										
【年度計画及び実績】											
課題	【バス停上屋やベンチ・電照式標識の設置】 地域からの要望は多いものの、全てを直ちに対応していくことは困難である。なお、広告付き上屋については、社会情勢を受けた広告料収入の変動や物価高騰等の影響のため、設置業者による上屋の設置数が毎年変動する。 【隙間調整材の設置】 過年度に実施した工事において得られた施工可能量や、施工上の課題を踏まえ、発注時期を調整する。										
実施内容	・年度毎に各設備の設置目標数を設定し、着実に実行する事で、バリアフリーを推進する。 ・バス運転者採用時教習やその他職員研修時に、バリアフリー化に対する職員教育を実施する。 ・仙台市交通局バリアフリーアンケートは、隔年実施の意見交換会及びお客様の声等により意見反映は十分可能なことから、中間年実施アンケートの有無について検討する。 ・地下鉄関係職員に対し、バリアフリーを含めたサービス向上研修を実施する。 ・過年度の隙間調整材設置工事で得られた施工監理・安全監理に係る知見を活かし、着実に工事をすすめる。					数値目標	・上屋:8箇所/年度(内 広告付き5箇所) ・電照式バス停留所:5箇所/年度				
	予定					実績					
上期	・～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係公官庁との協議 広告付き上屋設置工事 ・～9月 現場確認・設置箇所の選定(広告付き以外の上屋) ・9月 高齢者団体、障害者団体へのアンケート実施の有無を検討					・～9月 広告付き上屋設置箇所選定 関係公官庁との協議 広告付き上屋設置工事(2箇所) ・～9月 現場確認・設置箇所の選定(広告付き以外の上屋) ・9月 高齢者及び障害者団体へのバリアフリーアンケートは、隔年実施の意見交換会及びお客様の声等により対応を行っていることから、局バリアフリー推進委員会において中止することとした。 ・9月 健康福祉局が主催する障害者就労体験2名を2日間受け入れ実施。					
下期	・2月 サービス向上研修の実施 ・～3月 設置工事(広告付き上屋含む)使用開始										
定期的な取組み	・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)					・年1回以上の定期点検(上屋・ベンチ)、清掃 ・お客さまのご利用状況やご要望の確認 ・設置事業者との新規設置工事の調整(広告付き上屋)					
【令和5年度上期評価】											
評価	◎		進捗状況・評価の説明		・広告付き上屋について、2箇所の設置を行った。 ・広告付き以外の上屋については3箇所の現場確認・設置箇所を選定した。 ・仙台市交通局バリアフリー特定事業計画「心のバリアフリー化推進事業」に基づき障害者就労体験を実施したことで、職員が障害を持つ方に分かりやすく説明するためにはどうすればよいか学習でき、職員の心のバリアフリー推進化につなげることができた。						
下期に向けて	・広告付き上屋について、年度内5箇所設置に向け更なる協議を重ねていく。 ・障害者就労体験に関して主催者側の意見を踏まえ、次年度受け入れる際の参考とし実効性のあるものを計画していく。										
【備考】											
※1 仙台市交通局バリアフリー特定事業計画についてはこちら。 仙台市交通局ウェブサイト「安全・安心への取組み 交通バリアフリーへの取組み」											

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-2	分類	共通	担当課	経営企画課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	福祉施策への貢献						
概要	<p>高齢者や障害のある方等の公共交通利用促進に貢献します。 【福祉割引】 障害者手帳をお持ちの方等が、係員に手帳を提示することなく、自動的に福祉割引(※1)が適用された運賃をお支払いいただける福祉割引用icscaを引き続き発行します。 【敬老乗車証・ふれあい乗車証】 敬老乗車証(※2)、ふれあい乗車証(※3)を引き続き市バス・地下鉄でご利用いただけるようにします。 【近隣自治体の福祉サービス用icsca発行】 富谷市及び大和町の福祉サービス向けicscaを発行します。</p>									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	・ミライID開始									
	・福祉割引用icscaの運用									
	・敬老乗車証・ふれあい乗車証に関する関係部署との連携									
これまでの取組み状況	<p>福祉割引の拡充や、敬老乗車証、ふれあい乗車証、福祉割引用icscaの継続運用によって、高齢者や障害のある方の公共交通利用促進に貢献してきた。令和3年度は、精神保健福祉手帳をお持ちの方の割引内容を拡充（手帳の発行自治体を問わないこととし、さらに定期券割引や介護人割引を新設）また、スマートフォンで障害者手帳の情報を開示できるアプリ「ミライID」(※4)の取り扱いを開始した。 平成28年から運用されてきた富谷市に続き、令和5年より大和町の福祉サービス向けicscaの運用を開始する。</p>									

【年度計画及び実績】

課題	・交通局ウェブサイトで、福祉割引や敬老乗車証、ふれあい乗車証についてのページが検索しにくい。								
実施内容	・交通局ウェブサイト、福祉割引や敬老乗車証、ふれあい乗車証等の福祉施策について検索しやすいよう整備するとともに、ページ内容の見直しも合わせて行う。 ・ミライIDについて、関係部署と連携し、情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・近隣市町の福祉制度に対応したicscaを発行する。						数値目標		
	予定					実績			
上期	4月 大和町福祉サービス用icsca運用開始。 4月～ 交通局ホームページで福祉施策のページを検索しやすいよう整備するとともに、ページ内容の見直しを行う。					4月 大和町福祉サービス用icsca運用開始。 4月～ 交通局ホームページの福祉施策について、表現等を修正し、分かりやすい内容への見直しを行った。			
下期									
定期的な取組み	・ミライIDについて、関係部署からの情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・敬老乗車証、ふれあい乗車証について、関係部署との連携の上、必要に応じてあり方の検討に参画し、対応する。 ・福祉割引用icscaの継続運用 ・近隣自治体福祉サービス用icscaの継続運用					・ミライIDについて、関係部署からの情報収集に努めるとともに、交通局ウェブサイトにて情報発信を行っていく。 ・敬老乗車証、ふれあい乗車証について、関係部署との連携の上、必要に応じてあり方の検討に参画し、対応する。 ・福祉割引用icscaの継続運用 ・近隣自治体福祉サービス用icscaの継続運用			

【令和5年度上期評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	・交通局ホームページの福祉施策について、表現等を修正し、分かりやすい内容への見直しを行った。 ・大和町福祉サービス用icscaの運用が開始された。						
下期に向けて	引き続き高齢者や障害のある方の公共交通利用促進策を検討する。								

【備考】

※1	「福祉割引」とは、障害者手帳をお持ちの方の割引制度です。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。								
※2	「敬老乗車証」とは、70歳以上でご希望の方にお渡ししている、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できるカードのことです。								
※3	「ふれあい乗車証」とは、各種障害者手帳をお持ちで、障害の等級・程度の要件に該当する方が、仙台市内の市バス・地下鉄・宮城交通バスで利用できる乗車証のことです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。								
※4	「ミライID」とは、株式会社ミライが運営する障害者手帳アプリです。仙台市交通局では令和3年4月1日より、ミライIDのうち「マイナビータル」との連携が完了しているものを障害者手帳としてお使いいただけます。詳しくは下記リンクよりご確認ください。								
<p> 仙台市交通局ウェブサイト「小児運賃・福祉割引について」 仙台市ウェブサイト「敬老乗車証」(外部サイトを表示します) 仙台市ウェブサイト「ふれあい乗車証(バス・地下鉄の無料乗車証)の交付」(外部サイトを表示します) 仙台市交通局ウェブサイト「令和3年4月1日から障害者手帳アプリ「ミライID」の取扱いを開始します」 </p>									

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組の概要】

番号	3-2-3(バス)	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	観光施策への貢献						
概要	<p>来訪者向けの公共交通施策の実施や大規模なイベント開催時等の公共交通利用促進に貢献します。 【来訪者向けの公共交通施策の実施】 インバウンド等対応 仙台市を訪れる多様な外国人のお客さまに必要な情報を提供できるよう、交通局ウェブサイト及び広報資料における多言語表記の充実や「やさしい日本語」の活用を検討していきます。また、車内や窓口において、外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるよう、研修を実施するとともに、音声翻訳機による案内サービスを提供します。 利便性の高い乗車券制度への参加 仙台及びその周辺の観光地を含むエリア内で複数の交通機関が乗り放題となる、「仙台まるごとバス」「SENDAI AREA PASS」に引き続き参加することで、旅行者が公共交通を利用する際の利便性向上を図ります。 【大規模イベント対応】 仙台七夕まつり期間における地下鉄臨時ダイヤの設定や、SENDAI光のページェント開催時における観光シティループバス「るーぶる仙台」の夜間特別運行等、イベント時の需要に応じた運行を継続し、利用を呼び掛けていきます。</p>									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	<p>観光施策と連携した取組の検討・実施 多言語表記変更・ご利用案内リンク方法検討・導入 どこバス仙台等の英語対応の検討 仙台まるごとバス／SENDAI AREA PASSへの参画</p>									
これまでの取組み状況	<p>【令和3年度】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所における音声翻訳機による案内サービスの提供。 ・るーぶる仙台「光のページェント号」の運行。 ・バス停留所名称英語対応（電照式44箇所）。 ・令和3年4～9月開催の東北デスティネーションキャンペーンに合わせた、「TOHOKU MaaS」における「デジタル版仙台まるごとバス」の発売に参画した。</p> <p>【令和4年度】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所における音声翻訳機による案内サービスの提供。 ・るーぶる仙台「光のページェント号」の運行。 ・バス停留所名称英語対応（電照式32箇所）。 ・どこバス仙台を機能改修し、英語でのご案内を開始。 ・「デジタル版仙台まるごとバス」について、「TOHOKU MaaS」における発売を下記期間実施してきた。 →令和4年6月以降は継続して発売している（令和2年2月、令和2年9月～11月、令和3年4月～9月、令和4年6月～）。</p>									

【年度計画及び実績】

課題	<ul style="list-style-type: none"> バス停留所名称がオープンデータ基準に適合していないため、表記を変更する必要がある。 仙台まるごとバスについて、仙台MaaSへの早期搭載の実現。 	
実施内容	<p>【多言語対応】 ・仙台駅西口バスターミナル案内所において音声翻訳機による案内サービスを提供する。 ・オープンデータ基準にあわせたバス停留所名称へ表記を変更する。</p> <p>【仙台まるごとバス】 ・仙台まるごとバス運営協議会において仙台MaaSへの搭載を検討する。</p> <p>【イベント時の運行】 ・るーぶる仙台「光のページェント号」実施に向けて仙台市観光課と協議する。 ・緑化フェアの開催に伴い、荒井駅～震災遺構仙台市立荒浜小学校前の系統を増便予定（開催期間の土曜、日曜、休日 時間帯10時～14時）。</p>	<p>数値目標</p> <ul style="list-style-type: none"> バス停留所名称の英語表記の変更を実施する（電照式30箇所）。
	予定	実績
上期	<p>【多言語対応】 ・～9月 電照式バス停留所名称英語表記の変更</p> <p>【イベント時の運行】 ・4～6月 緑化フェア対応（一部系統の増便）</p>	<p>【多言語対応】 ・～9月 電照式バス停留所名称英語表記の変更実績12箇所</p> <p>【緑化フェア】 ・増発便の運行 期間4月29日～5月28日間の土・休日・祝日運行 (GW期間内の平日5月1日・2日も運行) 荒井駅⇄震災遺構荒浜小学校前 15日間 1日10便増発 増発便利用者数 540人 増発便合計150便 一便平均利用者数3.6人 ・利用状況を踏まえ、運行期間を短縮。(6日間短縮)</p>
下期	<p>【多言語対応】 ・～3月 電照式バス停留所名称英語表記の変更</p> <p>【イベント時の運行】 ・11～12月 るーぶる仙台「光のページェント号」運行について仙台市と協議</p>	
定期的な取組み	・仙台まるごとバス／SENDAI AREA PASSへの参画	・仙台まるごとバス／SENDAI AREA PASSへの参画

【令和5年度上期評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	電照式バス停留所名称の英語表記の変更が計画どおり達成できる見込みである。
下期に向けて			電照式バス停留所名称の英語表記の変更作業に必要なアクリル板部材単価が上昇しており購入枚数が減少するので、リサイクル品を利用し作業を進める。

【備考】

※1 「仙台まるごとバス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぶる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。 仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとバス運営協議会によって運営されています。 「仙台まるごとバス」(外部サイトを表示します)
※2 「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。 仙台まるごとバスと同じエリアが一日乗り放題となります。 「SENDAI AREA PASS」(外部サイトを表示します)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-3(地下鉄)	分類	共通	担当課	経営企画課、営業課、駅務サービス課、運転課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	観光施策への貢献						
概要	<p>来訪者向けの公共交通施策の実施や大規模なイベント開催時等の公共交通利用促進に貢献します。 【来訪者向けの公共交通施策の実施】 インバウンド等対応 仙台市を訪れる多様な外国人のお客さまに必要な情報を提供できるよう、交通局ウェブサイト及び広報資料における多言語表記の充実や「やさしい日本語」(※1)の活用を検討していきます。また、車内や窓口において、外国人のお客さまに必要な情報を伝えられるよう、研修を実施するとともに、音声翻訳機による案内サービスを提供します。 利便性の高い乗車券制度への参加 仙台及びその周辺の観光地を含むエリア内で複数の交通機関が乗り放題となる、「仙台まるごとパス」(※2)「SENDAI AREA PASS」(※3)に引き続き参加することで、旅行者が公共交通を利用する際の利便性向上を図ります。 【大規模イベント対応】 仙台七夕まつり期間における地下鉄臨時ダイヤの設定や、SENDAI光のページェント開催時における観光シティーバス「るーぶる仙台」の夜間特別運行等、イベント時の需要に応じた運行を継続し、利用を呼び掛けていきます。</p>									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定	各種研修の実施									
	イベント時の需要に応じた臨時ダイヤの設定									
これまでの取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度はオリンピック・パラリンピックに合わせて、外国人旅行者を想定した駅係員全員に「やさしい日本語」の内部研修を実施した(◆4-2-2-シートに関連記載あり)。 外国人のお客さまに必要な情報を、タブレット(翻訳アプリ)や主要な駅に配置している音声翻訳機を活用し案内サービスを提供している。 「デジタル版仙台まるごとパス」について、「TOHOKU MaaS」における発売を下記期間実施してきた。 →令和4年6月以降は継続して発売している(令和2年2月、令和2年9月～11月、令和3年4月～9月、令和4年6月～)。 令和4年度は仙台七夕花火祭開催に伴う増便を行った。 									

【年度計画及び実績】

課題	<ul style="list-style-type: none"> 外国人のお客さまに必要な情報を分かりやすく伝えること。 令和5年7月ダイヤ改正を踏まえた、七夕花火祭における増便を実施する。 	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> やさしい日本語研修を継続的に実施する。 七夕花火祭増便ダイヤを検討し、実施する。 駅構内サイン等への案内言語の追加を検討、実施する(◆2-2-2に関連記載あり)。 交通局ウェブサイトにおけるGoogle翻訳について、対象言語の拡充を行う。 	数値目標 ・駅係員全員が年1回やさしい日本語研修を受講する。
	予定	実績
上期	4月～ 緑化フェア増便ダイヤ実施 七夕花火祭増便ダイヤ検討 7月 駅構内サイン等への案内言語の追加 8月 七夕花火祭増便ダイヤ実施	4月～ 緑化フェア増便ダイヤ実施 (4/29～6/25 21日間 東西線土休ダイヤ1日2往復増便) 七夕花火祭増便ダイヤ検討 6月9日 駅務助役2名が外国人接客研修・やさしい日本語講座を受講した。下期の研修に活かす予定。 7月 駅構内サイン等への案内言語(繁体字)の追加 8月 七夕花火祭増便ダイヤ実施 (南北線35往復、東西線31往復増便) 泉区民ふるさとまつり増便ダイヤ実施 (南北線11往復増便)
下期	・1～3月 やさしい日本語研修を実施	
定期的な取組み	・タブレットや音声翻訳機による案内サービスの提供。	タブレットや音声翻訳機による案内サービスの提供を実施した。

【令和5年度上期評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明 ・全国都市緑化フェア開催や七夕花火祭の開催に伴い、必要に応じ地下鉄の増便を行った。 ・駅構内案内サイン等に繁体字を追加した。 ・令和5年7月ダイヤ改正を踏まえた、七夕花火祭における増便ダイヤを実施した。 ・令和5年7月ダイヤ改正を踏まえた、泉区民まつりにおける増便ダイヤを実施した。 ・駅務助役2名が外国人接客研修・やさしい日本語講座を受講した。(文化観光局交流企画課主催)
下期に向けて	・大規模イベントの需要に応じたダイヤ設定を継続していく。 ・外国人接客研修・やさしい日本語講座を受講した駅務助役が下期に向けて資料を作成し、研修を実施する。	

【備考】

※1「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも、簡単で外国人にもわかりやすい日本語のことです。□
 ゆっくり、はっきりと話し、難しい言葉は、簡単な言葉や表現に言い換えます。また、一文を短くし、です・ます調で話します。
 ※2「仙台まるごとパス」とは、仙台・松島・松島海岸・山寺・白石駅区間のJR、仙台空港鉄道、るーぶる仙台、仙台市バス、仙台市地下鉄の全線、宮城交通の仙台～秋保大滝路線、阿武隈急行の槻木～あぶくま駅区間が2日間乗り放題のフリー切符です。仙台圏交通事業者等で構成される仙台まるごとバス運営協議会によって運営されています。
[【仙台まるごとパス】\(外部サイトを表示します\)](#)
 ※3「SENDAI AREA PASS」とは、仙台エリアを訪れる訪日外国人旅行者向けのフリー切符です。仙台まるごとバスと同じエリアが一日乗り放題となります。
[【SENDAI AREA PASS】\(外部サイトを表示します\)](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-2-4	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献		個別取組	MaaSの推進						
概要	モビリティ全体をサービスとして捉え、目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食・物販店、イベント等の検索・予約・決済等に至るまで、スマートフォンのアプリ等で一括して提供する仕組みであるMaaSについて、関係機関とともに推進していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定										
これまでの取組み状況	<p>各事業者が開発するMaaSの仕組みを活用し、るーぶる一日乗車券、るーぶる・地下鉄共通一日乗車券などの一日乗車券のモバイルチケット化を進めている。また、「120円パッ区一日乗車券」、「地下鉄一日乗車券」の実証実験としての販売を通じ、乗車券のオンライン購入のニーズやQR乗車券の実用性など調査検討を行うとともに、搭載券種について認知度の向上の取り組みを関係機関とともに推進している。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台MaaSにおいて、新券種「120円パッ区一日乗車券」の実証実験を実施(◆2-1-3、3-1-2に関連記載あり) 仙台MaaS参画(120円パッ区一日乗車券、るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等) TOHOKU MaaS参画(るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等) <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台MaaSにおいて「120円パッ区一日乗車券」の実証実験を継続(◆2-1-3、3-1-2に関連記載あり) 仙台MaaSにおいて「地下鉄一日乗車券」を実証実験として販売(9月30日～10月2日) 仙台MaaSポケモンスタンプラリーと連携しPR(◆2-1-3、3-1-1、3-1-2に関連記載あり) 仙台MaaS参画(120円パッ区一日乗車券、るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等) TOHOKU MaaS参画(るーぶる仙台一日乗車券、仙台まるごとバス等) 									

【年度計画及び実績】

課題	仙台MaaSでの販売枚数を増加させるために、搭載券種について認知度の向上が必要。		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 仙台MaaS運営委員会に引き続き参画するとともに、「地下鉄一日乗車券」等既存券や新券種の搭載を検討・実施する。 仙台市と連携し、仙台MaaSで引き続き乗車券を販売するとともに、多様な媒体での紹介やイベントとの連携等により認知度の向上を図ることで販売枚数の増加につなげる。 	数値目標	<ul style="list-style-type: none"> るーぶる一日乗車券について、通常の販売とMaaSでの販売を合わせて令和4年度以上の枚数を販売する。 MaaSでの販売枚数について令和4年度を上回る。
	予定		実績
上期	<p>【新券種】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 120円パッ区一日乗車券の本格導入 4～6月 全国都市緑化仙台フェア東部周遊乗車券の販売 6～9月 新券種の検討(◆2-1-3(全体)に関連記載あり) 	<p>【新券種】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月 120円パッ区一日乗車券の本格導入 4～6月 全国都市緑化仙台フェア東部周遊乗車券の販売 6～9月 新券種の検討(◆2-1-3(全体)に関連記載あり) 	
下期	<p>【新券種】</p> <ul style="list-style-type: none"> 10～12月 仙台MaaS搭載に係るシステム仕様、業務運用の調整 新券種の届出や規程類改正及びPR・広報の検討 1～3月 仙台MaaS搭載に係る各種テストの実施 新券種の届出や規程類改正及びPR・広報の実施 		
定期的な取組み	<ul style="list-style-type: none"> 仙台MaaS運営委員会への参加 MaaS導入券種の継続販売及びPR 		

【令和5年度上期評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	<ul style="list-style-type: none"> TOHOKU MaaSに引き続き参加した。 仙台MaaS上で「るーぶる仙台一日乗車券」、「るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券」を継続して販売し、「120円パッ区一日乗車券」については、本格導入を行った。また、「全国都市緑化仙台フェア東部周遊乗車券」を令和5年4月17日～6月18日で販売したほか、令和6年度向けに新券種の検討を行った。
下期に向けて	MaaSの搭載券種の認知度を向上させ、販売促進を行うことで、MaaSの推進を行う必要がある。		

【備考】

- *1 「MaaS」とは、スマートフォン等で目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食店・イベント等の検索・予約・決済に至るまでを一括して行える仕組みです。
- *2 「TOHOKU MaaS」とは、東日本旅客鉄道株式会社が東北デスティネーションキャンペーンに合わせて令和3年4月1日から令和3年9月末まで実施され、11月より再開しているMaaSです。
- *3 「仙台MaaS」とは、仙台市が令和3年10月より実施しているMaaSです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。
[【仙台MaaS】\(外部サイトを表示します\)](#)
[仙台市ウェブサイト【仙台MaaS推進】\(外部サイトを表示します\)](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】										
番号	3-2-5	分類	共通	担当課	経営企画課、輸送課、整備課、電気課、運営管理事務所	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R5	
取組	まちづくりとの連携・社会への貢献 個別取組 ICTや新技術の活用の検討									
概要	公共交通分野におけるICTや新技術を活用した機器やシステムについて、情報収集や実証実験への協力等を検討していきます。									
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
予定										
これまでの取組み状況	<p>【自動運転技術】 令和3年度は気仙沼線BRT自動運転バス試乗会参加したほか、インターネットによる国土交通省やメーカー等のウェブサイトを開覧及び検索し情報収集を行った。令和4年度はインターネットによる国土交通省やメーカー等のウェブサイトを開覧及びディーラーから情報収集を行った。</p> <p>【定期券発売所の混雑緩和策】 例年4月頃に定期券発売所が非常に混雑することを避け、令和4年4月に二次元バーコード付整理券発行サービス「matoca(マトカ)」の試験実施を行った。</p> <p>【IC乗車券システム】 icscaの付加価値の拡大に向けて、民間事業者等との連携を図っている。 JR東日本等が開発した地域連携ICカードに関し、仙台圏に導入する場合に想定されるさまざまな課題について、JR東日本と協議・検討を行っている。</p> <p>【各種キャッシュレス決済】 IC乗車券を補完する各種キャッシュレス決済の可能性を調査している。</p> <p>【スマートバス停】 令和3年度はスマートバス停(※2)の導入検討のため、メーカーと定期的に打合せを実施(先行事例のヒアリング等)したほか、スマートバス停のデモ機を借用した。令和4年度はスマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打ち合わせを実施した(費用対効果の検証等)。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 令和2年度 遠隔監視レール温度計設置の実証実験を実施した。 令和3年度 遠隔監視レール温度計を2箇所設置し、稼働状況の確認及び遠隔によるレール温度管理を開始した。 令和4年度 遠隔監視レール温度計の稼働状況確認及び遠隔によるレール温度管理を実施した。</p>									
【年度計画及び実績】										
課題	<p>【IC乗車券システム】 シンクライアント型IC乗車券システム(※3)など、将来的な費用削減に資する新技術を調査する必要がある。</p> <p>【スマートバス停】 スマートバス停導入の費用対効果が見込まれず、実施している事業者も限られているため、引き続き調査・検討が必要。</p> <p>【自動運転技術】 交通環境が多様な市街地で実用化される路線バス車両の自動運転技術レベルの段階的な進捗を見極める必要がある。</p>									
実施内容	<p>【IC乗車券システム】 他事業者や各メーカーより新技術情報を収集する(◆1-3-11に関連記載あり)。</p> <p>【自動運転技術】 国土交通省の動向や車輻メーカーとの情報交換等により情報収集を行う。</p> <p>【スマートバス停】 専攻導入事業者にメリット・デメリットを適宜調査する。また、補助金財源等の活用で導入費用や維持管理費用の削減が可能かを検討する。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 南北線に設置したレール温度計の稼働状況を確認し、酷暑期の効率的なレール温度管理を実施する。また、技術情報について、各鉄道事業者等との情報交換により情報収集を行う。</p>									
	予定					実績				
上期	<p>【IC乗車券システム】 ・現行サーバサポートの過不足や期限等を確認する。</p> <p>【スマートバス停】 ・スマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打合わせを実施する。 ・先行導入事業者にメリット・デメリットを適宜調査する。 ・補助金財源等の活用による費用削減を検討する。</p> <p>【各種キャッシュレス決済】 ・二次元コードの活用など、磁気券コストの削減に向けた調査を行う。</p> <p>【定期券発売所の混雑緩和策】 ・4月の定期券発売所最繁忙日に二次元バーコード付整理券発行サービス「matoca(マトカ)」により混雑緩和策を実施する。</p>					<p>【IC乗車券システム】 ・各サーバの中期的な更新について、時期・内容の具体化を進めた。</p> <p>【スマートバス停】 ・スマートバス停導入検討のため、メーカー主催の講演をWEB聴講した。</p> <p>【各種キャッシュレス決済】 ・来訪者向けのキャッシュレス決済について文化観光局と協議して調査した。</p> <p>【定期券発売所の混雑緩和策】 ・4月7日の定期券発売所最繁忙日に二次元バーコード付整理券発行サービス「matoca(マトカ)」により混雑緩和策を実施した。</p>				
下期	<p>【IC乗車券システム】 センターシステム次期更新方針を固める。</p> <p>【スマートバス停】 ・スマートバス停の導入検討のため、メーカーと定期的に打合わせを実施する。 ・先行導入事業者にメリット・デメリットを適宜調査する。 ・補助金財源等の活用による費用削減を検討する。</p>									
定期的な取組み	<p>【IC乗車券システム】 他事業者や各メーカーより新技術情報を収集する。</p> <p>【スマートバス停】 国内動向の確認。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 レール温度計の稼働状況の確認及びレール温度の監視</p> <p>技術情報の収集</p> <p>【自動運転技術】 国土交通省の動向や車輻メーカーとの情報交換等により情報収集を行う。</p>					<p>【IC乗車券システム】 相互利用先や関連メーカーとの技術的な情報交換を実施した。</p> <p>【スマートバス停】 国内動向の確認。</p> <p>【遠隔監視レール温度計】 レール温度計の稼働状況の確認及びレール温度の監視。</p> <p>【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集を行った。</p>				
【令和5年度上期評価】										
評価	◎		進捗状況・評価の説明		<p>【IC乗車券システム】 現行システムの安定運用に必要な更新方法を具体化するとともに、icscaの付加価値の拡大に向けて、サービス事業者との情報交換を行った。</p> <p>【スマートバス停】 スマートバス停に関するメーカー主催の講演をWEB聴講し、導入検討を行った。</p> <p>【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集に努めた。</p>					
下期に向けて	<p>【IC乗車券システム】 センターシステムの次期更新方針を固める。</p> <p>【スマートバス停】 スマートバス停導入の費用対効果について更なる検討を行う必要がある。</p> <p>【自動運転技術】 車両メーカー及びインターネット等を活用した情報収集を行う。</p>									
【備考】										
<p>※1「リアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計」については、国家戦略特区の特典制度の取組みとして、令和2年度に実証実験を実施し、令和3年度には「クロス・ラボ・センダイ」の取組みの一つとして、システムを導入しました。 実証実験については、下記のリンクより概要を紹介する情報紙「仙台特区 Vol.9」をご確認ください。 仙台市ウェブサイト「仙台特区 Vol.9発行」(外部サイトを表示します) システム導入については、下記のリンクより「クロス・ラボ・センダイ」をご確認ください。 仙台市ウェブサイト「クロス・ラボ・センダイ」(外部サイトを表示します) リアルタイム遠隔監視タイプのレール温度計導入の状況については、下記のリンクをご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「施設設備の維持管理」</p> <p>※2「スマートバス停」とは、デジタルサイネージや電子ペーパーにバスの運行時刻表だけでなく、その他の告知文や広告などを遠隔操作によりリアルタイムに表示できるバス停のことです。</p> <p>※3「シンクライアント型IC乗車券システム」とは、運賃計算をサーバ側で行う方式であり、改札機等の端末側で運賃計算を行う現行方式に比べ、通信回線に由来する不安定性や処理遅延といった課題が想定されるものの、一般的には安価と言われています。</p>										